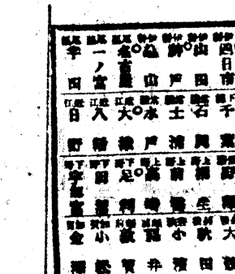
時事新報第一紙面廣告料一行金三拾錢

時事新報紙面の廣告は一般新聞紙の廣告に比して最も有効なるは今更申す迄もなく殊に其第一紙面は他の紙面に倍して効能著しきより従来同紙面に掲載方依頼の向多く其都度取捨選擇に若しむみと紛からず依て第一紙面に限り廣告料一行に付金三拾錢申受候也



完備致

本家
本店
商店

製造發賣本舗　長瀬富郎

東京馬喰町二丁目　電話浪花九二二

時事新報社

（明治十八年）三月三日（金曜日）
三月三十五日
三月三十日
四月一日（戊戌）
四月十一分
四月十七分
四月十一分
四月十七分

會員募集廣告

◎明二號既刊ニ付此際至急入會アレ

銀行事務講習會

毎月二回會員ニ講義ヲ頒布ス一冊紙數百五十頁以上●入ケ月全科卒業●入會志願者ハ申込書ニ入會金學費相添ヘ申込ノ事●送金ハ郵便為換（小石川宮宛）銀行為換又ハ通運便◎入會金三十錢◎學費○全期前納三圓四十錢○半期前納一圓八十錢◎毎月分納五十錢

◎學科講師○銀行論○融論○貨幣論○商業學○商用簿○銀行簿記○商業簿記○商用算術○帝國唯一ノ學會●規則二錢郵分封入請求

論水○商法○商業○商法○銀行員○商用法○銀行簿記○小西講師○法學士○小澤博士○銀行事務○經濟學○高野法學士○穂積博士○銀行事務○法學士○井上森講師○銀行簿記○伊坪講師○其他科外

東京小石川區新諏訪町一四　銀行事務講習會

◎修學者ノ良教師ニテ當業者ノ好參考ナリ

定期預金
當座預金
小口當座預金

日歩壹錢四厘

（一口五圓以上如何程の大額にても）
當座勘定（入金の當所拂手形及び小切手は當日より利息を附す）
當座貸越金は一たび引出さるゝも當日中に入金となれば別に利息を申受けず
送金取組は其出合宜しからざる場合を除く外大抵無手數料にて取扱ふ

送金取組先（○印の當所は三井銀行支店出張所なり）

合名會社　三井銀行
本局一三〇九
東京市日本橋區新右衛門町十六番地

電話（支局人用）
本局四二〇
東京市深川區佐賀町一丁目卅二番地

深川出張所
電話（深局五七二）

（一ケ年六分
六ケ月年五分五厘

日歩壹錢

時事新報社論

祇說

漫に不景氣を唱ふる勿れ

昨年の外國貿易を見るに輸入超過は五千六百餘萬圓に及び之を一昨年に比すれば二百三十三萬圓の増加を致したるにも拘ず債金公債賣却代金の取寄ありしが爲め金銀貨も輸入超過して其高二千七百五十四萬圓に達せしが債金公債賣却代金の回收漸く止んで今や漸く金貨流出の勢を催はし金融漸く逼迫して經濟社會の前途甚だ掛念なるが如くなれ共實に少しく憂慮を開き心を廣うせしむるものありと思はるゝは米國の近況にして昨年歐洲諸國擧つての不作に反し米國の小麥は非常の豐作なりしに依り外國の需要甚だ多く代價は暴騰して八月下旬には一ブッシェル（一ブッシェルは凡そ我二斗に當る）一弗と云ふ珍しき高直を現はすに至れり但し輸出の繰延は幾許なるや未だ之を知るを得ざれども歐洲の減作は各國を通じて五千八十萬ミートリック（我十三億四千六百廿萬貫）の巨額に上りたる趨なれば其過半は無論米國より供給したるとならん第一の物產斯の如く好況なれば其影響自から國内全般の商賣工業に及びて久しく不景氣の苦境に沈みたる經濟界は追々活氣を催はし今や將に一陽來復の有樣を呈せんとして例へば毛織物柔皮硝子製造等の諸工業は何れも需要増加して隨て製すれば隨て散ずるの姿なるが故に製品の代價は次第に騰貴の傾向さへありと云ふ左れば是等の工業中には工場に雇役する職工の賃銀を既に引上たるものもあり又引上の約束を爲したるものもあるよしにて其他の製造業も夫れ〴〵多少發勢を挽回するに至りし中にも鐵道營業は頗る好況にして重なる鐵道會社の昨年一月より三月迄の收入を平均するに總收入は一昨年に比し二分を減じたれども純益は却て二分を増し又前半期の收入は總收入に於て一昨年の同時期を超ゆるみと僅少なりしかども純益は五分を増し尚ほ九月までの平均は總收入に於て四分、純益に於て一割一分を増したり斯く鐵道の收入増加したるは取も直さず小麥の輸出盛なるに由るものにして昨年九月中旬一週間の輸出高は六百三十萬ブッシェルに上り千八百九十一年九月の六百九十萬ブッシェルを除きては米國の歷史上未曾有の高にして其後も引續き盛況なりと云ふ尤も此繁盛は未だ一般の商工業を潤すに至らずして中には尚ほ不景氣に苦しむものあれども商賈の盛衰を徹するに足る可き鐵道の營業前述の如くなる以上は以て將來を卜するを得べし既に倫敦エコノミストの紙面にも本年一月中旬頃に至らば米國の商賈工業は一樣に繁盛を致すならんと見えたり我國輸出品第一の顧客たる同國の商工業にして活氣を生ずるに至れば其購買力自から增加して我國產の需要にも影響を現はすの時節到來せざるを得ず左れば目下我國の經濟界は其だ不安心なる狀態なれども觀て前途の好望を樂しみ得るものなきに非ず假令ひ遽に輸入の超過を憂ふは望む可からずとするも多少今日の逆勢を挽回するの効あるは疑ふ可らず漫に恐怖心にのみ驅られて却て恐慌の自發を催はすが如き斷じて取らざる所なれば我國の商賈人たるものは此際海外の事情を通覽して自から心を驅うし漫に失望せざるみを肝要なれば敢て一言するものなり

○親族篇と相續篇（上）

（梅法制局長官の談）

民法の親族篇、相續篇は曩に第十一議會へ提出せられたるも議院解散の爲め院議に上らずして已みたり猶ほ來る五月頃、開かるべき第十一議會へも昨年提出の分に多少の修正を加へて更に提出せらるゝ筈なるが梅法學博士に就きて右兩篇の精神とする所を聞くに大要、左の如し

●立法の困難　民法中の財產篇なるは論理的に法文を案出し得るのみか外國の法律を參酌して完全の法を作らんとするに其例を探るの難きを見るべし親族篇、相續篇の如き之を編成するに專ら自國の慣習を參考すべきものなれば立法の際、最も苦心を要するものあり舊慣舊例とて悉く善なるものにあらざれば時として法律を以て從來の惡慣習を改むるの必要もあれども凡そ慣習の善にして害なきものは務めて保存するの方針を採り是迄、戶籍の取扱に關して下級官吏より上司へ伺ひ上司より指令したるもの〴〵如きも指令の根據あり而て慣例を重んずるゆゑ〴〵なりしまでの事なれば法の全當を滿足するに往々相照合せざるの點あり例へば戶主及び家族の事は元老院に於て我が家族制の風俗に基き挿入したる所のものなるが親族篇、相續篇の全篇を通して家族主義の精神より出でたる規定は少く偶々元老院に於て修正したる條文の中に戶主の文字を散見するみとあれども其修正たる區々たる字句の修正に止まりて全篇の精神を改めたるものにあらず或は必要の條文にして甚だしく家族主義に反するが爲め削られたるものあるも其の削られたるを補ふべき適當の規定を作らざりしが如きもあり要するに舊案は一部分家族主義より成り一部分、西洋主義の精神を含める混淆法典にてありき然るに法典調査會は專ら家族主義の精神を以て親族篇、相續篇に大修正を加へ條文の足らざる所は之を補ひ以て全篇を完璧にするみとを務めたり

●結婚の効力　我國の慣例を重んじ家族主義を以て親族篇、相續篇の各章各條を修正したるが試みに數例を擧げて新法典の成分を說明せんに先づ結婚の條の如き其（一例なり）我國にては從來、結婚の手續、社會にて行ふ法律上の面倒を生ずるみとあり戶籍の上に記載せざるものは正當の結婚と見做さざるとは現行の法定なれども此の法定は實際に行はれ屆らざるの罪あり或は戶籍の事人にして戶籍上の屆出を怠るものあり或は戶籍の事人にして戶籍の國出を怠りながら却て悪意を以て爲め軍籍に登錄せられ居るものあり正式の結婚を經たる夫婦と野合の夫婦を判別するは頗る困難とする所なり日本にては西洋の如く結婚の儀式に町村長の立會を要すとか或は結婚の儀式に町村長の立會を要すとの主義に依りて其儀式を面倒にするは慣例の許さざる所ならんといへども戶籍の登錄を最にするは敢て無益せざる所なるべし故に新法典に在りては戶籍上の屆出をなさゞるものは如何なる事情を以てするも婚姻を見做さゞるみとに決定せり